

ベビー用品の生産とプライス記載事項について

【ベビーカーの種類】

- A型ベビーカー 生後1か月と月齢の浅い時期からでも使える。
両対面式のものが多い。振動吸収や安全性に優れる。
- B型ベビーカー 生後7ヶ月まで使用できない。
A型に比べて軽くて持ち運びやすい。
- AB型ベビーカー 軽量化したA型ベビーカー。今はこれがほぼ主流。
- バギー B型ベビーカー以上に軽くコンパクト。安価品が多い。



【ベビーカーの生産】

- ①フレームや車輪の割れや歪みが無いか確認する。
- ②水濡れのウエスとマジックリンを用意して、車輪、フレームを洗浄する。
- ③シートなど布の部分はエアーや掃除機でゴミを取り除く。汚れはフレーム同様に拭き上げる。

※10,000円を超える商品で汚れがあまりにも酷い場合、シートが外せればシートを外して洗濯機で洗濯する。

- ④付属品があればOPP袋に入れてハンドル部分にロックスで取り付ける。

※シートに取り付けるとお客様が試乗をする際に邪魔になります。

- ⑤プライスはハンドル左側にロックスで取り付ける。

※シートや日除け部分にバノックで取り付けると穴が開いてしまい商品価値が下がります。

【ベビーカーのプライス】

- ①プライスカードは中サイズを使用する。
- ②プライスカードの記載事項及び項目は下記の通り。

メーカー → ブランド名

品名 → ベビーカーの種類を記載

型番 → モデル名称(不明の場合は — を記載)

定価 → メーカー希望小売価格を記載(不明の場合はOPENと記載)

年式 → 販売開始日、発売日を記載(不明の場合は — を記載)

機能欄 → 1行目 使用目安月齢を記載

2行目 おすすめポイントやコメントを記載

備考 → 付属品の状態やヨゴレの状態を記載(説明書、クッションetc.)

製造番号 → 本体重量を記載(本体重量:○kg) 不明の場合は — を記載



【チャイルドシートの種類】

ベビーシート 新生児～1歳頃までのシート。ハンドルが有り、そのままキャリアとして持ち運べるものもある。

チャイルドシート 1歳頃～4歳頃までのシート。座面を寝かせたり、後ろ向きに取り付け使用することで新生児から使えるようになるものも多い。

ジュニアシート 4歳頃～10歳頃までのシート。子供の成長に合わせて背もたれを外して使うことができる。



【チャイルドシートの生産】

①フレームの割れや歪みが無いか確認する。

②水濡れのウエスとマジックリンを用意して、フレームを洗淨する。

③シートなど布の部分はエアーや掃除機でゴミを取り除く。汚れはフレーム同様に拭き上げる。

※10,000円を超える商品で汚れがあまりにも酷い場合、シートが外せればシートを外して洗濯機で洗濯する。

④付属品があればOPP袋に入れてシートベルト部分にロックで取り付ける。

⑤プライスはベルトのバックル部分下部にロックで取り付ける。

※シートや日除け部分にバノックで取り付けると穴が開いてしまい商品価値が下がります。

※ジュニアシートなどベルトが無い商品はシート前面下部にバノックで取り付けます。

【チャイルドシートのプライス】

①プライスカードは中サイズを使用する。

②プライスカードの記載事項及び項目は下記の通り。

メーカー → ブランド名

品名 → チャイルドシートの種類を記載

型番 → モデル名称(不明の場合は — を記載)

定価 → メーカー希望小売価格を記載(不明の場合はOPENと記載)

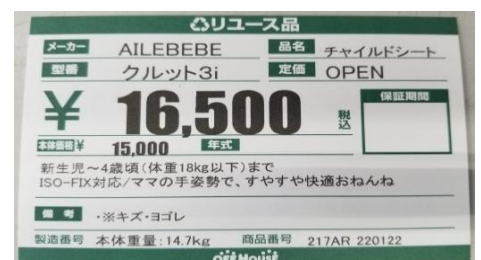
年式 → 販売開始日、発売日を記載(不明の場合は — を記載)

機能欄 → 1行目 使用目安月齢を記載

2行目 おすすめポイントやコメントを記載

備考 → 付属品の状態やヨゴレの状態を記載(説明書、クッションetc.)

製造番号 → 本体重量を記載(本体重量:○kg) 不明の場合は — を記載



【ハイローチェア/バウンサー】

ハイローチェア 赤ちゃんの「寝かしつけ」のために開発された簡易ベッド。

リクライニングさせることでベビーチェア。テーブルの取り付けで食事イスの役割もこなす。

バウンサー 赤ちゃんを「あやす」ために開発されたチェア。あやし用のおもちゃが付いているものもある。



【ハイローチェア/バウンサーの生産】

- ①フレームの割れや歪みが無いか確認する。
- ②水濡れのウエスとマジックリンを用意して、フレームを洗浄する。
- ③シートなど布の部分はエアーや掃除機でゴミを取り除く。汚れはフレーム同様に拭き上げる。

※10,000円を超える商品で汚れがあまりにも酷い場合、シートが外せればシートを外して洗濯機で洗濯する。

- ④付属品があればOPP袋に入れてシートベルト部分にロックスで取り付ける。
- ⑤プライスはシートの左側部分にバノックで取り付ける。

【ハイローチェア/バウンサーのプライス】

- ①プライスカードは中サイズを使用する。
- ②プライスカードの記載事項及び項目は下記の通り。

メーカー → ブランド名

品名 → ハイローチェア/バウンサー

型番 → モデル名称(不明の場合は — を記載)

定価 → メーカー希望小売価格を記載(不明の場合はOPENと記載)

年式 → 販売開始日、発売日を記載(不明の場合は — を記載)

機能欄 → 1行目 使用目安月齢を記載

2行目 おすすめポイントやコメントを記載

備考 → 付属品の状態を記載(説明書、クッションetc.)

製造番号 → 本体重量を記載(本体重量:〇kg) 不明の場合は — を記載



【その他ベビー用品の生産】

- ①商品に割れや破損、付属部品に欠品が無いか確認する。
- ②動作を伴うものは必ず動作チェックをする。
- ③水濡れのウエスとマジックリンを用意して、洗浄する。
- ④抱っこ紐など布製商品はエアーや掃除機でゴミを取り除く。汚れは拭き上げる。
- ⑤付属品があればOPP袋に入れてロックスで取り付ける。
- ⑤プライスは商品に応じてラベラーとプライス、下げ札を使い分ける。

※箱展示商品は箱の正面右上と右側側面右上に値札を付ける。

【その他ベビー用品のプライス】

- 中プライスを使用してパソコンから印字するもの

ベビーベッド、ジムやすべり台などサイズの大きなもの。

- 下げ札を使用するもの

ベビーゲート、抱っこ紐、ジムメリー、知育玩具など。

1行目 → ジャンル番号

2行目 → 商品名(出来るだけ記載する。分からなければ空白のまま)

3行目 → 特記事項(〇〇欠品etc.) 何もなければ空白のまま

- ラベラーを使用するもの

ベビーバス、その他ベビー小物、箱に入った食器やおもちゃなど

※ラベラーを使用する商品で商品の状態を表示する際には、本部発注備品の【商品状態シール】を使用する。

商品状態	
☐ 未チェック品	☐ キズ・汚れあり
☐ 欠品あり	☐ 作動不具合あり
備考	
中身の確認は、お気軽にスタッフまでお声がけ下さい。	

ベビー用品全般は、お客様のお子様が使用するものです。自分の子供に使うならどんな状態が良いかを考えながら心を込めて生産するようにしましょう。

とくに、おもちゃの動作の未チェックや、欠品の記載無しに関しては十分に注意していきましょう。

2025年12月25日より「子供PSC」マークが必要になる商品

子供PSC対象商品（3歳未満玩具全般）

子供PSC対象外商品（屋外使用製品やスポーツ用品・楽器など）

乗り物

出生後36月未満向けの乗用玩具（一時的に外で使用できるものを含む）



自転車、三輪車、四輪車、スケートボード、キックスケーター



水遊び

出生後36月未満向けのビニールボール、プールの玩具



浮き輪、首浮き輪、フロートベッド、アームリング



大型玩具

プレイジム、押し車



ブランコ、ジャングルジム、トランポリン、歩行器



ベビー用品・食玩・小物

入浴剤のおまけ、食玩、乳幼児のおもちゃ



おしゃぶり



ゲーム・玩具

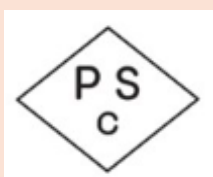
3歳未満のおもちゃ全般、磁気を使ったノート、メロディーおもちゃ



トランプ、本（ポップアップ含む）



ベビーベッド



～2027年3月24日まで販売可能



2025年12月25日から開始
※2027年3月25日からは新PSC
マークのみ販売可能